

朝夷奈切通



鎌倉市十二所から横浜市金沢区朝比奈町を結ぶ道。鎌倉七口の一つ。六浦口とも呼ばれる。1241年鎌倉幕府執権・北条泰時が自ら指揮を執り工事を行ったと「吾妻鏡」に記載されている。別に和田義盛の三男で豪傑だった朝比奈三郎義秀が一夜にして切り開いたとの伝承もあり、朝比奈峠の名の起こりとされる。金沢六浦津から塩や東国の物資を鎌倉へ運ぶ重要ルートであった。丘陵部に残る大規模な切岸（人工的な崖）は切通道の構造をよく示しており、周辺にはやぐら群、切岸、平場や納骨堂跡などの遺構が存在し、峠の中ほどの小道を上がると切通しを開く時に祀ったといわれる熊野神社がある。鎌倉の主要河川である滑川の源流域をなす。鬱蒼とした森の中にある切通は七切通のなかで往時の姿と雰囲気をも最もよく残している。国の指定史跡。

アクセス

2023/11/10



※バスの時刻につきましては、「京急バス」でサイトのご検索をいただくか、
京浜急行バス鎌倉営業所 0467-23-2553 にお尋ねください。

朝夷奈切通アクセス（詳細地図）

